

●京都府立府民の森ひよし

<p>前回検証結果 (平成23年度)</p>	<p style="text-align: center;">継 続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業大学校やモデルフォレスト運動での利用に加え、地元団体等関係機関との連携等をより一層強化した利用促進の取組を検討すること。
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業大学校の実習フィールド、モデルフォレスト運動の拠点としての利活用を推進。 ・ 府内の生徒の体験学習の受入や子供向け体験行事の場として提供。 ・ 平成25年10月にJR西日本とモデルフォレスト運動に関する協定を締結し、敷地内に「Club J-WESTの森」を設置し、年2回の活動を実施。 ・ 「森の京都」の入口として、また、平成28年3月に指定された京都丹波高原国定公園における重要施設として、さらには平成28年10月に開催される全国育樹祭の式典行事の開催場所として広くPRを実施。
<p>取組の成果</p>	<p>◇直近3箇年の実績として、平成25年度と比較し、平成27年度は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金収入が約3%増加 ・ キャンプ場利用率が約2%増加
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 利用率の高い設備でも約50%で推移し、特に平日の利用率の改善が必要。 ◆ 近隣には類似施設がいくつかあり、役割分担の検証が必要。
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 設置目的に合致するPRが府民に対して十分にできていないと感じる。 □ 単一目的でない施設利用の在り方を検証し直し、利用率を上げるためのさらなる努力を期待する。 □ 大学等のゼミ合宿施設としての利用促進を企画してはどうか。
<p>京都府の検証結 果及び対応方向</p>	<p style="text-align: center;">継 続</p> <p><施設運営に関する意見></p> <p>◎複合的な施設利用を検討し、利用者の拡大を図る取組を実施すること。</p> <hr/> <p><今後の対応></p> <p>○全国育樹祭の開催地として、今後知名度向上が見込まれるため、設置目的に沿った事業をさらに積極的に展開するとともに、大学などへのPRも強化し、利用者拡大に取り組む。</p>